

# 契約図書



(参考図)



——: 岸線測量 (R4d)  
基準面: 境港基準位 (TP+0.11m)  
座標基準: 世界測地系 (V系)  
等深線: R4d (R4.11測量)

外港竹内南地区境港公共マリナーナふ頭用地造成工事「公有水面埋立願書作成業務委託」

数量総括表

費目・工種・施工名称等	規 格	単 位	設計数量	変更数量	増減	摘 要
設計業務委託費						
設計業務						
公有水面埋立免許願書作成						
計画準備						
計画準備		業務	1			
現地調査及び各種試験						
現地調査		業務	1			
データ整理		業務	1			
公有水面埋立免許願書作成						
公有水面埋立免許願書作成		業務	1			
添付図書作成（環境保全を除く）		業務	1			
添付図面作成		業務	1			
環境保全に関する図書作成						
環境保全に関する図書作成	事業環境整理・保全項目設定	業務	1			
打合せ協議						
打合せ協議	当初、中間1回、最終	業務	1			

【共通】

業務名：外港竹内南地区境港公共マリーナふ頭用地造成工事「公有水面埋立願書作成業務委託」

## 特記仕様書

**第1(目的・主旨)**

当事業は、外港竹内南地区境港公共マリーナふ頭用地造成工事のための埋立申請に必要となる資料を作成するものである。

**第2(適用範囲)**

本業務の履行に当たっては、「設計業務共通仕様書(最終改定:平成28年10月10日)」、「港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書(令和6年3月)」によるほか、この特記仕様書及び別添1の公有水面埋立免許願書作成業務 特記仕様書によること。

編	章	節	条	見出し	項	特記及び追加仕様事項
追加				業務内容		設計業務 ・公有水面埋立免許願書作成 一式
追加				資料の貸与及び返却		本業務において必要となる資料については、初回打合せ時において、双方確認し貸与することとする。
追加				関係官公庁への手続き等		関係機関と協議が必要となることが想定される場合には、調査職員に速やかに報告すること。
追加	1			地元関係者との交渉等		・業務期間内に事業説明会を行うことは予定していないが、行った場合はその結果を設計に反映させる必要があるため、調査職員に協議すること。 ・個人情報の取扱いについては、個人の権利利益を侵害することのないよう留意するとともに、情報を収集する際には、目的の範囲内で行うこと。
追加				成果物の提出		成果物は、下記のとおりとする。 ・報告書 1部 ・電子媒体(CD-ROM 又は DVD-R) 2部 また、本業務は、電子納品対象業務であり、 <a href="https://www.pref.tottori.lg.jp/171188.htm">https://www.pref.tottori.lg.jp/171188.htm</a> に掲載された本業務調達公告日時点で最新の「鳥取県電子納品・情報共有運用ガイドライン」によること。
追加				関連業務		当業務は、別途発注している外港竹内南地区境港公共マリーナふ頭用地造成工事「基本設計業務委託」と関連するため、相互の連絡調整を綿密に行い、調整を図ること。
追加				疑義等		業務を遂行するうえで疑義を生じた場合は、調査職員と協議し、速やかに処理すること。
追加				見積り等		公有水面埋立免許願書作成については見積りにて、積算しており、積算参考資料(施工単価表)のとおり。
追加				労働環境の改善に向けた取組		本業務の実施にあたっては、受発注者双方の労働環境の改善を図るため、「労働環境の改善に向けた取組について(平成29年1月31日付第201600158128号県土整備部長通

## 【共通】

編	章	節	条	見出し	項	特記及び追加仕様事項
						知)」に基づき、受発注者双方でワンデーレスポンス、ウェンズデー・ホーム等の労働環境の改善に向けた取組を実施すること。
追加				遠隔臨場		当業務は遠隔臨場の対象である。遠隔臨場の活用を希望する場合は、 <a href="https://www.pref.tottori.lg.jp/307254.htm">https://www.pref.tottori.lg.jp/307254.htm</a> に掲載された本業務調達公告日時点で最新の「鳥取県建設工事・測量等業務の遠隔臨場に関する実施要領」によること。
追加				設計変更等取扱要領		設計変更等については、 <a href="https://www.pref.tottori.lg.jp/303205.htm">https://www.pref.tottori.lg.jp/303205.htm</a> に掲載された最新の「測量等業務設計変更等取扱要領」によること。
追加				情報共有システム		当業務は情報共有システムの対象である。情報共有システムの活用を希望する場合は、 <a href="https://www.pref.tottori.lg.jp/171188.htm">https://www.pref.tottori.lg.jp/171188.htm</a> に掲載された本業務調達公告日時点で最新の「鳥取県電子納品・情報共有運用ガイドライン」によること。
追加				その他		工期内においても、調査職員から成果品の一部の提出を求められた場合は、速やかに提出すること。



【設計業務】

編	章	節	条	見出し	項	特記及び追加仕様事項
1	1		1106	管理技術者	3	資格要件は調達公告による。
4	4		1107	照査技術者及び照査の実施	1	一本業務は、照査技術者を定め照査を実施する。なお、照査に当たっては、「詳細設計照査要領」及び、調査職員の指示によること。
					3	資格要件は調達公告による。
1	1		1110	打合せ等	2 4	本業務における打合せ協議は、下記の主要な区切において行うこととし、以下のとおり予定している。 ・当初・中間・成果納品時 計3回 なお、業務着手時及び業務完了時には管理技術者は立ち会うこと。
1	2		1201	使用する技術基準等		最新の技術基準及び参考図書に加えて、「機械式鉄筋定着工法の配筋設計ガイドライン」を用いて業務の実施にあたるものとする。
4	2		1209	設計業務の条件	1	【設計条件】 設計条件は、下記のとおりとし、その他の内容については初回打合せ時に確認することとする。
					9	【建設副産物・リサイクル】 鳥取県建設リサイクル指針、県土整備部リサイクル製品使用基準等に基づき、リサイクル製品、鳥取県認定グリーン商品等の積極的活用を図ること。 なお、リサイクル計画書の作成に当たり、他工事への搬出可能量等については調査職員に協議すること。
					11	【コスト縮減】 設計に当たっては、完成後の維持管理を含めたライフサイクルコストを考慮し、総合的な評価により工法等を検討すること。
4	2		1211	設計業務の成果	1 (4)	設計図面、数量計算書は、暫定、完成計画ごとに取りまとめること。 現場進入路が狭く、資材搬入に当たり小型車(2トン積、4トン積)への積替え等が見込まれる場合は、数量計算書の中に「材料集計表(碎石・購入土等)」を追加作成すること。 材料集計表を作成する対象資材は、主本工事実施単価表に掲載する「02. 一般資材単価」のうち「(07-1)骨(石)材」及び「(07-2)再生碎石」に該当するものである。
追加				特殊な条件		(河川:付帯施設、環境上の留意点、施工計画上の条件など) (道路:環境上の留意点、施工計画上の条件、用地取得状況など) 当計画区間は、鉄道と近接しており、構造物の仮設においては、作業が制限されるため、使用機械の形式、規格等について十分検討を行うこと。
追加				条件明示チェックシート		(対象業務を選択する。予備設計の場合は、予備設計において条件明示チェックシートを作成し、詳細設計に引き継ぐ。) 設計業務品質確保ガイドラインに基づき、条件明示チェックシートを作成すること。

【設計業務】

編	章	節	条	見出し	項	特記及び追加仕様事項
						(1)道路詳細設計(平面交差点設計含む) (2)橋梁詳細設計 (3)山岳トンネル詳細設計 (4)共同溝詳細設計 (5)樋門・樋管詳細設計 (6)排水機場詳細設計 (7)築堤護岸詳細設計 (8)砂防堰堤詳細設計
追加				関係機関協議(資料作成)		・関係機関:河川管理者、道路管理者、警察、国交省直轄事務所、海上保安部、関係自治体



# 外港竹内南地区境港公共マリーナふ頭用地造成工事 「公有水面埋立願書作成業務委託」 特記仕様書

## 1. 適用の範囲

この仕様書は、境港 外港竹内南地区公共マリーナふ頭用地造成工事に伴う公有水面埋立免許願書作成業務（以下、「本業務」）について適用する。

本業務はこの特記仕様書に定めるもののほか、「港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書」に基づき実施するものとする。

## 2. 業務の目的及び方針

本業務は、境港 外港竹内南地区において計画しているふ頭用地造成工事に先立ち、公有水面埋立法第2条第1項の規定に基づく公有水面埋立免許の取得を目的に、公有水面埋立免許願書を作成するものである。

## 3. 業務内容

本業務の業務内容は以下であり、詳細の内容については、「公有水面埋立実務便覧 全訂二版 国土交通省港湾局埋立研究会編」(平成14年12月 公益社団法人 日本港湾協会)を参照すること。

### （公有水面埋立免許願書作成）

#### （1）計画準備

業務の目的及び内容を把握し、現況の把握及び関連資料の収集を行い、業務の円滑な遂行に向けた業務計画書を作成する。

#### （2）現地調査及び各種試験

公有水面埋立願書及び添付図書の作成に向け、既存資料では不足している情報を得るため、現地調査及び各種試験・データ整理を行う。

#### （3）公有水面埋立免許願書作成

- 1) 公有水面埋立免許願書作成
- 2) 添付図書作成（環境保全を除く）
- 3) 添付図面作成

#### （4）環境保全に関する図書作成

- 1) 事業環境整理・保全目標の設定
  - ・対象事業の内容
  - ・埋立区域、その周辺地域の現況
  - ・環境予測及び影響評価
  - ・環境保全目標の設定

#### （5）打合せ協議

打合せ協議は、初回、中間、最終の3回を予定している。